

医教連携フォーラム2022

医教連携によって開発した 食物アレルギー等緊急時 対応プログラムの実践

—そなえる&ふせぐ 安心な学校づくり—

地方創生 SDGs
官民連携
プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

3 GOOD HEALTH
AND WELL-BEING



4 QUALITY
EDUCATION



日時 令和4年 **12月24日** 土 14:00 ~ 16:30

会場 **岡崎市図書館交流プラザ りぶら 3階 会議室301**
(岡崎市康生通西4丁目71番地)

**参加費
無料**

「事前申込制」

プログラム

主催/愛知教育大学、藤田医科大学 後援/愛知県教育委員会

14:00 主催者あいさつ
14:10 愛知教育大学 理事(連携・附属学校担当) 杉浦 慶一郎

14:10 研究発表 I
「学校におけるアレルギー対応体制構築」
14:40 愛知教育大学 地域連携センター委員/准教授 岡本 陽

14:40 ワークショップ I
「食物アレルギーの基礎とアナフィラキシーの症状」
15:20 藤田医科大学 地域連携教育推進センター長/教授 石原 慎

15:20 休憩
15:30

15:30 ワークショップ II
「実技トレーニングデモンストレーション」
16:10 藤田医科大学 地域連携教育推進センター長/教授 石原 慎
愛知教育大学 地域連携センター委員/准教授 岡本 陽

16:10 質疑応答
16:20

16:20 総括
16:30 愛知教育大学 地域連携センター長/教授 大鹿 聖公

趣旨

愛知教育大学地域連携センターは、大学と地域との連携強化を目的として2009年10月に開設されました。その役割として、本学に求められる社会貢献及び地域の教育的・文化的発展を推進していくことが期待されており、センター内において様々な活動を行っています。その1つとして、2015年3月に医教連携を深めていくことを目的に、本学と藤田保健衛生大学（現 藤田医科大学）とで連携協定を締結しました。医療・医学と教育の連携を生かして、子どもの健康課題をはじめとする様々な問題に対し研究を進め、地域社会への貢献につながることを期待されます。

本フォーラムでは、藤田医科大学と共同研究を行っている「食物アレルギー」をテーマに、アナフィラキシーショック症状への対応を行ううえで必要な実技の習得、事例検討から学校教育現場の体制構築や情報共有などをディスカッションすることで、学校教育現場における緊急時のあり方を考える機会とします。

また、これまで刈谷市をはじめ、名古屋地区、豊橋地区で開催してきましたが、今回、三河の中心的な文教地域であり、愛知教育大学附属学校や地域医療の拠点として近年開設された藤田医科大学岡崎医療センターが所在する岡崎市で初めて開催します。

参加申込 **締め切り／令和4年12月16日(金)** 定員50名(先着順)

申込方法/下記URLまたはQRコードから申込みサイトにアクセスし、お申込みください。

<https://wuke.jp/aichi-edu/entries/add/454>



*申込みサイトからお申込みができなかった場合は、下記お問合せ先までご連絡ください。

*新型コロナウイルスの感染状況によっては、開催を中止する場合がありますので、ご了承ください。

*連絡先については、お断りの連絡のほか、悪天候や上記等の理由による中止連絡の際にも使用しますので、勤務時間外にも連絡が取れる電話番号・メールアドレスをご記入ください。

*個人の情報については、目的外の使用はいたしません。

*登録いただいたメールアドレスによっては、自動返信メールが届かない場合があります。届かない場合は、下記お問合せ先までご連絡ください。

お問合せ先

愛知教育大学 地域連携センター (担当事務:地域連携課 地域連携係)

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1番地

TEL: (0566) 26-2129 FAX: (0566) 95-0552 E-mail: chiiki@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

アクセス



新型コロナウイルス感染症対策に関するお願い

- ・マスクの着用、入室時のアルコール消毒にご協力をお願いいたします
- ・大声での会話はお控えください
- ・発熱、咳、頭痛など体調不良の場合は参加をお控えください
- ・家族、職場等に感染者が発生した場合は参加をお控えください
- ・会場は随時換気いたしますのでご了承ください